

資料館だより

目次

| | |
|----------------|---------|
| 表紙 | … (1) |
| 収蔵資料紹介 | … (2~3) |
| イベント・インフォメーション | … (4) |

樹下唐美人図 坦庵筆

左の絵は『資料館だより』の一号の表紙になった掛軸で、江川太郎左衛門（坦庵）の筆です。この掛軸を含め、坦庵公の掛軸四点を令和七年度に修理しました。今号では、今年度修理した掛軸と、収蔵品の絵葉書の紹介をします。絵葉書は明治頃〜昭和の中頃までの日本全国及び海外のもので、今年度整理をしました。すべて合わせ約千四百点あり、そのうち伊豆に関係するものが約五百点あります。伊豆の国市にある史跡や街並みなど当時の様子が分かるものが多くあります。

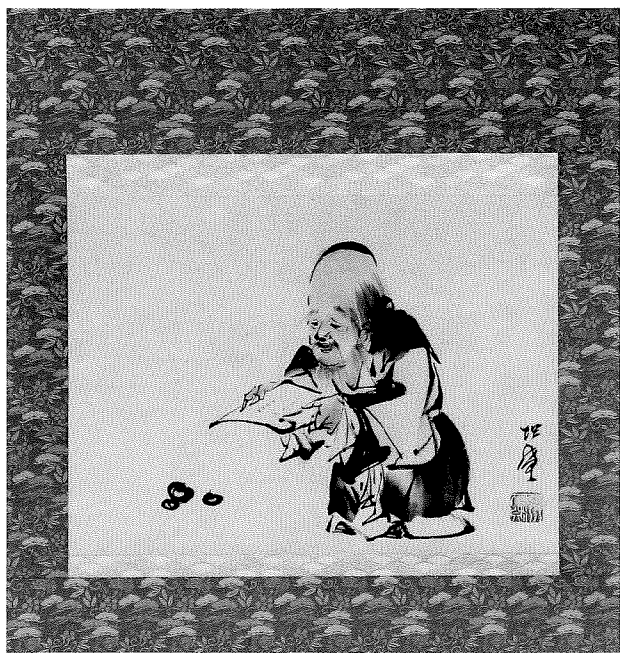




(2)

江川太郎左衛門英龍は、享和元（一八〇一）年に生まれました。坦庵は雅号になります。剣術・槍術・馬術・砲術の他、絵画・書・詩文・経書・測量術など学び文武両道を実践しました。絵画における英龍の師匠は大国士豊や谷文晁と言われていますが、実際の手ほどきは大国士豊に受けたと思われず。ただ、本格的な師を得ずに終わり、後年は独学独習であったと考えられます。狩猟の際にも必ず絵筆を持ち、獲物などを写生するなど努力を重ねていったようです。

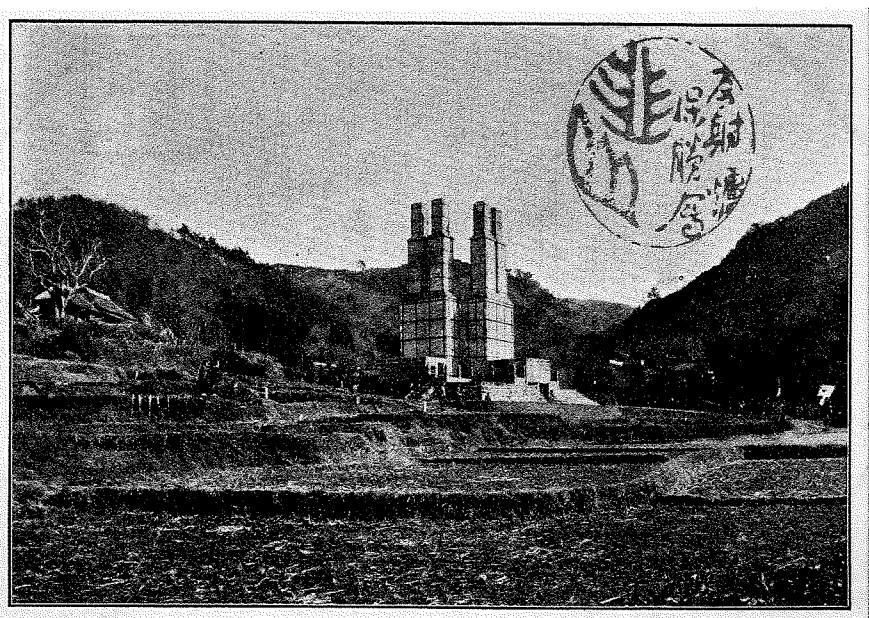
英龍は数多くの作品を残しており、伊豆の国市も何点か所蔵しています。



寿老人

今号の表紙の「樹下唐美人図」の他に、二頁にある「梅花の図」、「寿老人」は英龍によるものです。今年度、この三点の他に英龍の書を一点、高島秋帆の書一点、合計五点の掛軸を修理しました。これらは「伊豆の国歴史館いずしる」でも展示する予定です。

英龍は、借財の返済と家名興隆のため厳しく儉約を実施し、英龍の衣服は、礼服以外は木綿で、冬でも袷一枚だったと言われています。また、ペリー来航への応接、それを契機とした海防強化のための反射炉の築造や、西洋砲術の研究、軍制の改革など、多くの業績があります。



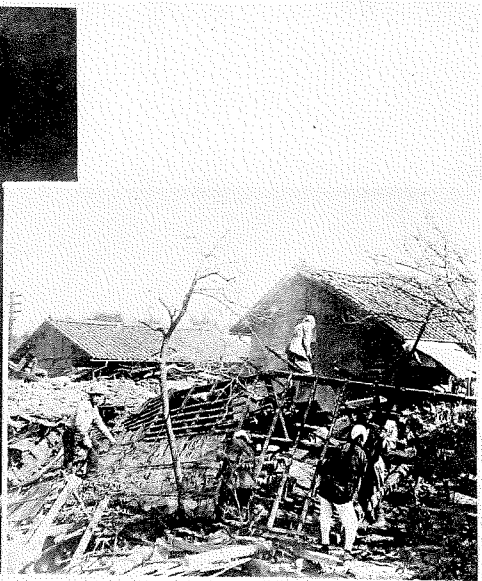
明治四十二頃の反射炉

右の絵葉書は明治四十二（一九〇九）年頃のもので、保存修理事業落成記念の式典様子とされています。反射炉は、海防の強化のため、葦山代官の江川太郎左衛門英龍が安政元（一八五四）年に着工し、安政四（一八五七）年に完成した洋式の金属溶解炉です。これまで何度か修理事業が行われています。反射炉の最初の本格的な修理事業は、明治四十一

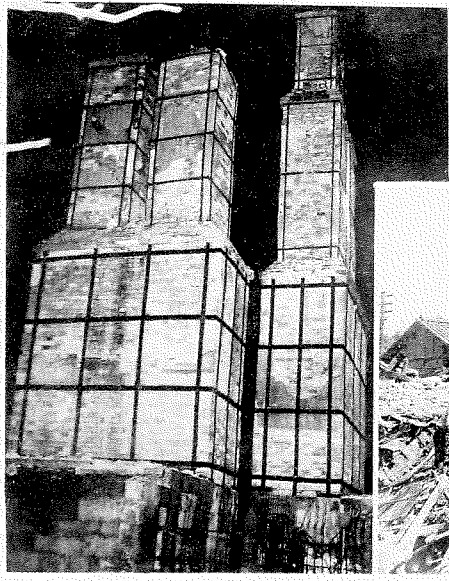
（一九〇八）年から四十二年にかけて陸軍省において実施されました。

左の絵葉書は、昭和五（一九三〇）年の北伊豆地震後に撮影された反射炉と町の様子です。反射炉は上部が折れており、反射炉内部にも亀裂が生じました。昭和三十二（一九五七）年に当時の葦山村によって修理が行われ、このときに鉄骨トラスのフレームを組むなど耐震補強を行っています。

昭和五年、地震後の反射炉



伊豆大震災（葦山の惨状並に折れた反射炉）



6



伊豆大震災（古奈温泉街）

昭和五年、地震後の古奈温泉街

昭和三十年十一月七日頃から伊豆の網代付近で群発地震が発生し、その後二十六日の早朝にマグニチュード七・三の直下型大地震が起こりました。これが北伊豆地震です。特に葦山・田中・北狩野地区は被害が群を抜いていました。右の絵葉書は当時の古奈地区を写したものです。北伊豆地震は、震災後一周年と五十周年に記念誌が作成され、体験談などが語り継がれています。



(3)

令和7年度下半期イベント



昔の道具に触ってみよう！

三月上旬に、市内小学三年生にむけて昔の暮らしを学ぶ授業を実施しました。資料館にある道具に触れて動かしました。道具の重さや、使う手間を知って、昔の道具を使った生活の大変さがわかりました。一方、昔の道具の方が簡単に使えるという児童もいました。



インフォメーション

「伊豆の国市郷土資料館」は、令和八年三月三十一日をもって閉館します

伊豆の国市郷土資料館は、平成二十九年七月一日に伊豆の国市中央図書館内に開館して以来約九年、常設展示で市内遺跡や民俗文化を紹介した他、出張授業、テーマ展示、ワークショップ等を行ってきました。多くの方にご来場、ご利用いただき、ありがとうございました。



「伊豆の国歴史館いずしる」が、令和八年五月三十一日に開館します

常設展示では、五つの時代別テーマを設定し、歴史の流れに沿って本市の特徴や時代の転換点を理解できる展示になっています。また、歴史館を拠点に、市内の史跡や文化財を周遊していただけるよう、様々な工夫がこらされています。ぜひ、ご来場ください。

施設案内

所在地 静岡県伊豆の国市四日町八〇〇―
電話 〇五五・九四四・六〇九五

伊豆の国市郷土資料館 資料館だより 最終号

編集発行 伊豆の国市郷土資料館 令和八年三月三十一日
印刷 いさごや印刷工業株式会社